

株主の皆様へ

第122期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

122

昭和パックス株式会社



SHOWA PAXXS
REPORT

常にお客様への感謝の心を持ち、
品質保証と物流の革新を通して、
社員の成長を求め、社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。
重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。設立以来、お客様からの、
こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、
一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。
その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけて、80年余歩んでまいりました。

———— Since 1935 ————

創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はおお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

OWA PAXXS

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当社は第122期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

【日本経済の概況】

当該期間の複数の専門機関によるマクロ景況は総じて良好な指数を提示しています。

【当社グループの概況】

概ね良好に推移しました。

国内のクラフト重袋総出荷数は前年比約1.1%減少したものの、当社グループではわずかではありますが増加し、増収増益となりました。

フィルム部門は一昨年に営業部門を改編強化した結果、販売数量、収益ともに前年を上回り、低迷を脱しつつあります。

【今期の業績】

連結売上高は20,771百万円で前期比780百万円の増収でした。損益では営業利益1,393百万円（前期比198百万円の増益）、経常利益1,521百万円（前期比222百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益1,026百万円（前期比157百万円の増益）となりました。

【来期の見通しと課題】

相当困難な環境になることは必至の情勢であります。

拡販途上にある製品の進捗を加速させること、製造部門では質の向上を最優先課題に置き、同時に生産性向上に努め利益確保を目指します。

中核であるクラフト重袋分野の国内需要は直近2年の安定感は期待できず、減少幅が増大すること、資材価格の高騰、発送運賃上昇、求人難等克服しなくては

Top Message



代表取締役社長
大西 亮

ならない重大な局面を迎えます。

当社グループの来期の業績は、売上高21,200百万円（伸長率2.1%）、営業利益1,446百万円（伸長率3.8%）、経常利益1,545百万円（伸長率1.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益1,042百万円（伸長率1.5%）を見込んでおります。

配当について

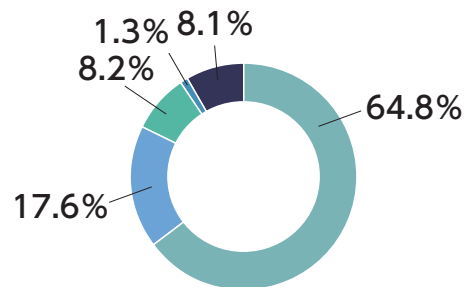
平成30年3月期は年間34円の配当を実施しました。これは、当初の予想に比べて4円の増配であります。平成31年3月期も、年間34円の配当を予想しております。

セグメント情報

売上高

20,771
百万円

■ 重包装袋	13,451百万円
■ フィルム製品	3,657百万円
■ コンテナ	1,708百万円
■ 不動産賃貸	263百万円
■ その他	1,690百万円



重包装袋

■ 事業説明

プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品、他にもペットフード、化学肥料、培土等多様な物品を、包装する紙袋・ポリエチレン袋に加え、粉用新製品SVパックを製造・販売しています。

内容物の特性やお客様の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付与しています。

■ 事業概況

当社の重包装袋の売上数量は、前期比1.8%増でした。米麦袋は、業界全体では、米の集荷包装形態の変化による大幅な減少（△6.4%）が続いていますが、当社は減少を1.9%にとどめました。主力の合成樹脂用途は3.8%増で、製粉、化学薬品等も数量を伸ばしました。タイ昭和パックス(株)他グループ各社も、売上数量を増加させました。

主たる原材料であるクラフト紙の価格は比較的安定して推移しました。

■ 主力製品



フィルム製品

■ 事業説明

当社設備の特長を活かし、大型包装資材として利用される熱収縮フィルム「エスタイト」や、防霧効果、光線透過性、流滴持続性、耐候性など、様々な特性を付与したパイプハウス展張用農POフィルム「キリヨケバーナル」。

そして、極めて優れた伸縮性と密着性、突刺耐性を備え牧草などの畜産用飼料を安定して発酵させるサイレージ用ロールベールフィルム「エスラップ・グリーン」など、産業用途から農業用途に至るまで、よりお客様が使いやすく、高くご評価いただける製品を目指して開発を行い、当社の主力製品として長年に渡りご愛顧いただいています。

■ 事業概況

当社のフィルム製品の売上数量は、産業用は前期比で14.1%増、農業用は1.1%減で、合計では8.0%増となりました。産業用では、一般広幅ポリエチレンフィルムや、マスキングフィルム用のHQF、熱収縮包装用のエスタイト等が伸びました。農業用では牧草ストレッチフィルム等は伸びましたが、年度前半の沖縄向け農業用フィルムの不振が響きました。ただ、農業用も全体ではやや盛り返して、年度後半は前年同期比で増加に転じています。

原材料であるポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂は、価格が変動し、値上がりから一旦値下がりになり転じた後、再び上昇、損益に影響しました。

■ 主力製品



(産業用)



(農業用)

コンテナ

■ 事業説明

一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg～1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタंक」を製造・販売しています。

■ 事業概況

当社のワンウェイ・フレコンの売上数量は、自社品、輸入販売品とも前期を下回り、合計で前期比1.9%減でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」も前期比減少しました。液体輸送用も、1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタंक」ともに、年度後半は伸ばしたものの通期では減少となりました。

■ エスキューブ



製品紹介（当社の製品を順次紹介いたします。）

エスタイト

エスタイトとは、荷崩れ防止および防塵のためのポリエチレン製熱収縮フィルムです。被包装物全体をエスタイトで包み、熱を加えて収縮させることで被包装物に密着させます。

① 荷崩れ防止効果

エスタイトが被包装物に密着し、固定させることによって、荷崩れを防ぎます。被包装物の形に沿って収縮するため、複雑な形状にも対応可能です。

② 防塵効果

被包装物全体を覆うので、高い防塵効果があります。

③ 大型包装を実現

最大幅7.8mの実績があり、大きな被包装物にも対応いたします。

④ 包装資材のコスト削減

エスタイトのみで固定と防塵ができるので、他の包装方法に比べて、コストを削減できます。



パレット積みした製品の荷崩れ防止



大型製品（ボート）の梱包

トピックス

FSC®CoC認証取得

森林保護への関心が高まっている現在、適切に管理された森林の木から作られた製品が非常に注目されています。これまでの森林資源の保護は「紙のリサイクル」が主流でしたが、これからの考え方は「いつまでも貴重な自然、森林を守り育てる」という新しい形になってきました。

当社は森林環境保全への配慮からFSC（森林認証制度）のCoC認証を取得しました。



責任ある森林管理
のマーク

FSC（森林認証制度）とは適切に管理（適切に保存し、地域の社会的な利益にかなう、経済的にも継続可能）された森林であることと、その森林から生産された木材、木材製品であることを、独立した第三者機関が認証する制度です。FSCラベル付の製品を使用することは、森林の適切な管理を間接的に支援することになります。

ソフトタンク用内袋初出荷

以前にも紹介しました、ソフトタンク用内袋を6月に初出荷しました。食品分野での拡販を進めていきます。

ソフトタンクとは特殊繊維にウレタンをコーティングした生地に、水密・気密のファスナーを取り付けた液体輸送用の大きな袋です。専用のトラックに取り付けることで1袋あたり12,000ℓ充填し、一度に最大24,000ℓの液体を輸送できます。

当社が株式会社アサノ通運と共同開発した内袋は、耐腐食・耐薬品性等に優れているため、ソフトタンクに装着すれば、今まで輸送が困難だった化学品・酒類・食用油等、幅広い液体輸送が可能となります。また、内袋は使い切りなので、洗浄の手間が省け、コストを削減できます。

フィルム製品売上増加

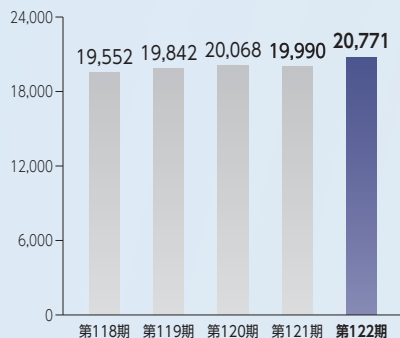
製造設備を更新したHQF（ハイクオリティフィルム）が大きく売り上げを伸ばしました。HQFは建材等の表面保護に用いられるフィルムで、高い偏肉精度（フィルムの厚さにむらが無いこと）が要求されます。

タイ昭和パックス㈱月間売上記録更新

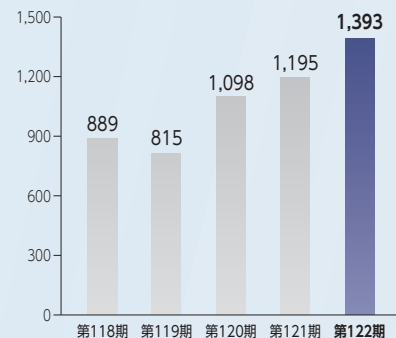
東南アジアに進出した得意先に紙袋を供給するため、平成9年タイ王国にタイ昭和パックス㈱を設立しました。その後の経済の進展に伴う旺盛な紙袋需要を取り込むために、設備増強を重ねてきました。設立20周年を迎えた昨年、5期連続で、年間販売数量の記録を更新しました。月間でも、製造数量4,500千袋、販売数量4,100千袋の新記録を達成しました。

連結財務ハイライト

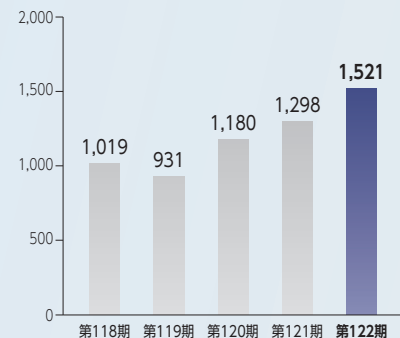
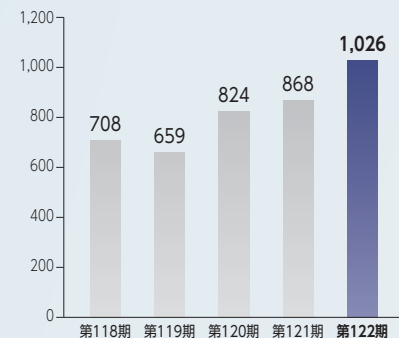
売上高（単位：百万円）



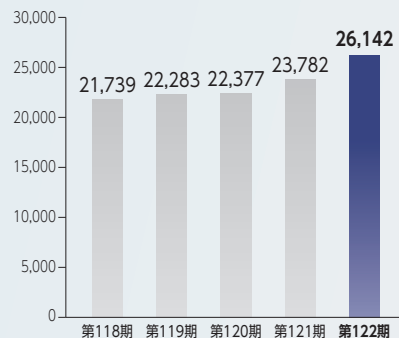
営業利益（単位：百万円）



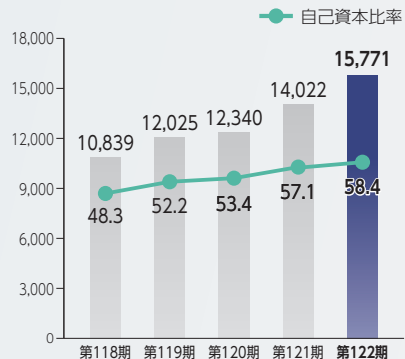
経常利益（単位：百万円）

親会社株主に帰属する
当期純利益（単位：百万円）

総資産（単位：百万円）



純資産（単位：百万円）／自己資本比率（単位：％）



会社概要（平成30年3月31日現在）

- **設立**
昭和10年12月20日
- **資本金**
6億4,050万円
- **主要な事業内容**
クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売
- **主要な事業所**
本 社 〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町2番12号
電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本（山口）、中部（名古屋）、東北（仙台）
工 場 東京（埼玉）、防府（山口）、富山、亀山（三重）、盛岡（岩手）、掛川（静岡）

子会社 九州紙工（鹿児島）、ネスコ（東京）、山陰製袋工業（島根）、山陰パック（島根）、昭友商事（東京）、タイ昭和パックス（タイ王国）

当社の株式の状況（平成30年3月31日現在）

- **発行可能株式総数** 13,450,000株
- **発行済株式の総数** 4,450,000株
- **株主数** 1,110名
- **大株主**

株 主 名	持株数（千株）	持株比率（％）
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
昭和パックス社員持株会	75	1.7
農林中央金庫	75	1.7
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
岡本圭介	50	1.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50	1.1
王子ホールディングス株式会社	50	1.1
丸紅株式会社	50	1.1
みずほ信託銀行株式会社	50	1.1
明治安田生命保険相互会社	50	1.1
中越パルプ工業株式会社	50	1.1

(注1) 持株比率は自己株式(9,959株)を控除して計算しております。
(注2) 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行となっております。

株主メモ

- 事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 期末配当金支払 3月31日
- 株 主 確 定 日
- 中間配当金支払 9月30日
- 株 主 確 定 日
- 基 準 日 定時株主総会については、3月31日。その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日。
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部
- お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
- 特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)
- 未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)
- 単 元 株 式 数 100株
- 公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載。
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

役員（取締役および監査役）（平成30年6月28日現在）

- 代表取締役社長 大 西 亮
- 常 務 取 締 役 飯 崎 充 管理本部長
- 取 締 役 森 文 男 生産本部長
- 取 締 役 野 崎 和 宏 営業本部長
- 取 締 役 小野寺香一 フィルム事業企画部長
- 取 締 役 渡 淳 二 サッポロホールディングス(株)顧問
- 常 勤 監 査 役 佐 藤 隆
- 監 査 役 宮 本 貞 彦 新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役
- 監 査 役 櫻 田 武 志 (株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※宮本貞彦氏および櫻田武志氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。